

平成25年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	宇都宮大学
団 体 等 名	社会福祉ゼミ
学生代表者氏名 (所属・学年)	宇都宮大学 教育学部 総合人間形成課程 4年 岩岡 智貴
責任教職員氏名	宇都宮大学 教育学部 教授 長谷川 万由美

1. 事業名	映画『傍 3月11日からの旅』上映と苫米地サトロコンサート
2. 実施時期	2014年3月2日 (日)
3. 実施場所	宇都宮大学峰キャンパス内 峰ヶ丘講堂
4. 事業の内容等	<p>東日本大震災から3年が経過しようとするなかで、「震災を風化させない」という思いを、栃木の地から発信していきたい。被災地のこれからについて、宇都宮大学、学生達がこれまで被災地復興のために行ってきた取り組みを知ってもらい、被災地への支援は未だ必要であることを感じ取っていただきたい。そのため「東日本大震災3.11の集い 宮城県亘理町に思いを寄せて」とのタイトルで、この度事業を実施した。</p> <p>また宮城県亘理町で被災されたシンガーソングライターである、苫米地サトロ氏をお招きし、震災当時の被災地の様子や、復興に向けての活動の様子をお聞きする。また、サトロ氏が出演され、宮城県亘理町が舞台となる映画『傍～3月11日からの旅～』を上映し、被災された方々の震災直後から1年間の様子を皆さんに見ていただくことで、再び大きな災害が発生した際の心構えや、防災への意識を高めるきっかけ作りの場としたい。</p>
5. 事業の成果と今後の課題	<p>参加いただいた方々から、学生報告、映画、苫米地サトロ氏のトーク&ライブそれぞれご好評いただくことができ、震災と被災地について向き合う時間を創ることができたのではないかと感じている。今後とも被災地への復興支援活動は必要だと考えているので、学生達は今後とも継続的な活動を続け、活動エリア、内容の拡大に努めていかななくてはならない。また、今回のように栃木の地での広報活動にもより一層力を入れていく必要がある。</p>

(注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。

報告書(添付書類を含む)はA4判5枚以内にまとめてください。

3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生活動支援事業に役立てていきたいと思っております。

「東日本大震災3.11の集い」

宮城県亶理町に思いを寄せてを峰が丘講堂で開催

宇都宮大学は“復幸”に貢献する人材の育成という教育方針の下、東日本大震災被災者支援の学生ボランティア活動を現在も継続的に実施しています。

宇都宮大学は2011年秋から宮城県亶理町に何度も学生をボランティアとして派遣しました。そこで多くの学生が現地に行かなければわからない被災地の現状、復興しながらもなかなか進まないもどかしさ感じてきました。そんな学生たちが、被災地のことを忘れてほしくない思いから、震災以降何度もうかがっている亶理町に焦点をあてた集いを平成26年3月2日に、地域の方々や学生・教職員40名が集まり東日本大震災から3年を振り返って、峰が丘講堂で開催しました。

学生たちの進行により、第一部として宮城県亶理町復興支援活動報告の後、亶理町を中心に被災者の傍らでの1年を描いたドキュメンタリー作品『傍（かたわら）～3.11からの旅』（いせFILM作成、伊勢真一監督）を上映しました。また第二部として『傍』にも登場していた亶理町在住のシンガーソングライター 苜米地サトロさんによるトーク&ライブを行いました。参加者たちは、今後も引き続き復興支援ボランティア活動を実施していくことを誓って閉会しました。



東日本大震災 3.11 の集い

宮城県亶理町に思いを寄せて

2014年3月2日(日)

宇都宮大学峰キャンパス峰が丘講堂

東日本大震災から間もなく3年、現地はまだ復興の道半ばです。「震災を風化させない」という思いを、この栃木の地から発信していきませんか。震災当時のこと、被災地の現状、そして、被災地のこれからについて、これまで宇大生が支援活動を行ってきた亶理町に思いを寄せて考えていきます。

プログラム (開場 12:00)

12:30～亶理町での活動報告

13:00～『傍～3.11からの旅～』上映

15:20～苫米地サトロさん

ライブ&トーク

16:30 閉会(予定)

大学コンソーシアムとちぎ学生生活動支援助成事



苫米地サトロさん
亶理町在住のシンガー。『傍』の主題歌「満月」をうたう。震災後、役場前のプレハブで、妻の圭さんたちとFM放送局「あおぞら」を開設し、町民に情報を提供する。



『傍(かたわら)～3.11からの旅～』
2011年3月11日、東日本大震災後、宮城県亶理町に暮らす友人のミュージシャン、苫米地サトロの安否を訪ね、カメラの旅は始まった。被災地の、被災者の傍らでの1年を描いた作品。
監督 伊勢真一 製作 いせFILM
<http://www2.odn.ne.jp/ise-film/>

宮城県亶理町とは



亶理町 HP より

亶理町は、宮城県の沿岸部に位置する人口30,000人ほどの町です。東日本大震災では多くの被害を受けました。宇都宮大学では、震災以来、継続して支援を行っています。

主催 宇都宮大学 学生ボランティア支援室
教育学部 社会福祉ゼミ

申込・問い合わせ 028-649-5072 070-5578-5934
gakubora@jm.miya.utsunomiya-u.ac.jp

日時：3月2日(日)12:30～16:30

場所：宇都宮大学峰キャンパス
峰が丘講堂(駐車場あり)

定員：100名 入場無料(カンパ歓迎)

